



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 3 月 29 日(土)

発行 館長 加藤 智 一

パンダが風邪を引きました。

マイナビニュース(2023. 8. 10)

著者：木村悦子より抜粋

もう 50 年以上前のことになりますが、1972 年、日中国交回復の象徴として、蘭蘭(ランラン)と康康(カンカン)という 2 頭のパンダが日本(上野動物園)にやってきました。何しろ国賓扱いなので、上野動物園は「決して死なせてはいけない」と、特別飼育チームが結成されたそうです。しかし、来日 10 日目の夜に、カンカンは高熱を出してしまいます。こりゃ大変だ。もしもの事があったら国家の一大事。この時の様子を飼育チームのリーダーだった中川志郎さんは、『パンダがはじめてやってきた!』(中公文庫、2011 年)という本の中に記録しています。

「来日 6 日目、透明なやや粘液質の水玉が糸を引くように滴下していた。」「来日 10 日目、鼻水がポトポト落ち、鼻の頭は乾燥し、眼が潤んでいる。」カンカンの風邪症状は次第に重くなっていきます。なんととしても治さないといけないのに、当時は飼育・治療についての情報も飼育書もありません。「パンダは肉食動物*なのにタケやササだけで体を大きくする動物だから、風邪によく使う抗生物質やサルファ剤では、有用な腸内細菌を殺してしまうかもしれない」と飼育チームで検討を重ね、抗生物質などではなく漢方薬はどうかということになりました。漢方薬は自然由来の成分で作られており、副作用も少なめであるという利点があります。飼育チームは、パンダのための薬を求め上野の街へ向かいました。1 軒開いていたのが、「天心堂診療所」という漢方薬店でした。

「風邪薬をください」「何歳で、体重はどのぐらいの方の薬ですか?」「小学校 5、6 年生で、体重 50 キロぐらい(パンダとは言わずに人間の子どもと設定)。

「ずいぶん大きなお子さんですね」といったやり取りの後に、漢方薬が処方されると記されています。早速飼育チームは動物園に処方された漢方薬を持ち帰り、ミルクに混ぜてカンカンに服用させたところ、翌日にはすっかりよくなったという話です。めでたしめでたし。

この時カンカンを救った漢方薬は「小葛湯」といいます。「小葛湯」は、あらゆるタイプの風邪に用いられる葛根湯をベースに、胃腸の働きを整える作用

など、葛根湯がやや劣っている部分を補う成分を加えた配合となっていたそうです。

※パンダは肉食動物なのになぜ笹を食べるのか?

①食物の入手可能性：パンダは「笹や竹がそこにあるから」食べているだけで、他の食物が少ない環境に適応しています。

②消化器官の特性：パンダの消化器官は肉食動物に近い構造を持っていますが、笹や竹を消化するには向いていません。実際、摂取した食物の約 80%は糞として排出されます。

③栄養吸収の効率：パンダは繊維質の多い笹や竹を十分に消化できず、摂取した栄養の約 17%しか吸収できません。

このように、パンダは肉食動物でありながら、環境に適応して笹を主に食べるようになったのです。



カップルと夫婦の違い(ネット情報) だろうね!!

不安と戦うのがカップル
不満と向き合うのが夫婦

夢を見るのがカップル
現実を見るのが夫婦

他人なのがカップル
他人と思いたくなるのが夫婦

見て見ぬふりするのがカップル
欠点を受け入れるのが夫婦

快樂を求めるのがカップル
忍耐を求めるのが夫婦

